

議会だより とくのしま


第 166号
平成 24年 1月 31日

発行 徳之島町議会 編集 議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997(82) 1111 FAX 0997(82) 1101



安心安全な町づくりをアピールする子ども1日警察署長（宮村美希さん）

第 4 回 定例会

日程：12月 11日～12月 16日

審議された案件と議決結果.....	1 0 p
いっぱん質問（9氏登壇）.....	1 1 p
議会のうごき.....	1 6 p
編集後記.....	1 8 p

1 2月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・徳之島町税条例の一部改正	原案可決
・特定地域振興生産基盤整備事業農地整備事業(畑地帯担い手支援型)負担金の負担	同意
・徳之島町町道の訂正	可決
・奄美自治会館管理組合の解散	可決
・奄美自治会館管理組合の解散に伴う財産処分	可決
・鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合理約の変更	可決
・教育委員会委員の任命	同意
・平成23年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決
・平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
・平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
・平成23年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
・平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・平成23年度水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
(陳情)	
・商工会に対する平成24年度補助金等に関する要望書	採択
・商品券発行に関する要望書	採択
・郵政改革法案の早期成立を求める陳情書	採択
・神之嶺カ子クバタへの緊急ヘリポート計画に付いて要望書	継続審査
(発議)	
・郵政改革法案の早期成立を求める意見書	原案可決

1 1月臨時会(第4回)で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・徳之島町職員の給与に関する条例等の一部改正	原案可決
・平成23年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決

いっばん 質問

12月定例会には、9人の議員が登壇し、ヘリポート建設、教育行政や医療・福祉問題、防災、T P P問題さらに農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

緊急搬送 ヘリポート整備

木原良治 議員



問

平成19年3月30日の自衛隊ヘリコプターの事故から早5年が経過しようとしている。早期に、安全で医療機関から近く、救急患者搬送に負担をかけない場所にヘリポート建設が望まれる。具体的な実施計画を示せ。

早期に解決
したい

答

高岡町長
今後、急患搬送の増加が見込まれ、早急な建設を実施したい。安全な場所を

医療、介護福祉
施設等整備事業
について

問

「医療施設用地整備事業」の計画から、民間委託されている「徳寿園」の建て替え誘致計画用地に変更した経緯と、今後の土地造成費用を含めた「債務負担行為」の内容を、町民に対して具体的に説明すべきでは。

確保し、早期に解決したい。

医療と介護の
安定を

答

高岡町長
病院の建て替え代替地を優先してきたが、建て替えが延びたことから、徳寿園誘致を安定的な医療・介護サービスを目指すために行っている。農業と福祉の雇用拡充を計っていきたい。積極的に町としても、連携していきたい。

こども図書館の
設置を

問

移動図書館車「ハイビスカス号」の実績に基づき、今後公共施設等を活用した「子ども図書館」の設置が必要と考えられる。実施計画を伺う。

支所の空室
利用を検討

答

琉社会教育課長
移動図書館車の巡回は、年間150回で特に東天城地区を中心に、2600冊余りの貸し出しがある。

東天城地区の読書環境の充実と地域の活性化を図る観点からも、花徳支所の空室が利用できないか検討していきたい。

移動図書館車「ハイビスカス号」



問 地球規模の大自然災害の続発は地球温暖化が原因とみられる。九州から沖縄にかけて30年以内にマグ



町民と財産を守れる防災計画を

幸 千恵子 議員

二チユード9規模の大地震発生の可能性が指摘されている。町民と財産を守れる備蓄倉庫完備など防災の拠点整備を含めた対策をどう考えているか。



綿密な防災計画でより綿密な町づくりを

防災計画を見直す

答 高岡町長
これまでの防災については、大雨・台風等の対応

であったため、津波は想定されていない。24年度中に防災計画を見直し、より安全な町づくりに努めたい。備蓄については、今後検討したい。

へりポートは津波で破壊されない場所に

問 へり墜落事故は、到着場所が原因ではなく、悪天候と悪天候を考慮した準備が足りなかったからだ。

人命救助目的のへりポートを、津波で一番先に破壊される海拔9mの海辺に設置するのは不適切だ。

あくまで急患搬送用

答 高岡町長
今、計画しているへりポートは、急患搬送用のへりポートであり津波は想定していない。医療施設から15分以内で安全な場所を確保することが重要だ。

津波等で使用できない場合は、高台にある場所を

選定することになる。

「債務負担行為」可決はリコールにつながる

問 農業をしていない人が違法に取得した畑(110万円程度)を、土地開発公社が26倍の高値で購入したのは、土地転がしに手を貸したものと批判がある。3億2千万円の「債務負担行為」可決は町長リコールの声があるが。

政策を進めることが政治責任

答 高岡町長
土地転がしは、一切ありません。農業と福祉の雇用に取り組むことは、私の政策であり、これを進めることが政治責任だと考える。

あなたのご意見をお寄せください

議会に対する質問やご意見、また本紙に対するご意見やご希望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局

TEL 0997-82-1111(内線331番)

道路整備は年次計画で

是枝 孝太郎 議員



問 現存の町道、生活道、農道の整備について年次計画はあるのか。また、要望等や一般質問における道路整備の進捗状況は、どのように推移しているのか伺う。

財政シミュレーションを基に計画

答 麓建設課長
本年度作成の財政シミュレーションを基に、3町防災訓練を生かした避難道路等を含めた計画の素案と地域的バランスのとれた年

次計画を検討する予定。道路整備の進捗状況は、要望に対して44%の整備率。

農地整備に助成を

問 平成27年の徳之島用水ダムの供用開始に向けて、パイプライン敷設工事等が急ピッチで行われている。加入率アップのために助成措置はできないか伺う。

助成措置も検討したい

答 里内耕地課長
徳之島用水ダム供用開始に向けて、受益者への加入率向上の推進については、国営・県営事業等の説明会で理解を求めてきた。

助成措置については、非常に厳しい財政状況だが検討したい。

キビ農家の救済措置は

問 今期のサトウキビは不作が見込まれている。糖業振興を進めている本町は、サトウキビ農家に対して救済措置を考えているのか伺う。

被害防止に努める

答 岡元農林水産課長
メイチュウは、緊急対策として、夏植ほ場に薬剤助成をしている。またイノシン被害に対しても、LEDライト・進入防止短冊の

助成や、北部地区では進入防止冊の設置を行っている。今後は、春植えについても薬剤助成を実施していきたい。



イノシン被害にあった金見のサトウキビ畑

とつとつする救急ヘリポート

内 重 男 議員



早期に決断する

建設予定地の見直しもあり得る。決定ではない」と答弁している。町長の言葉は非常に重いが。

問 神嶺校区での住民説明会で「ヘリポート建設には賛成だが、場所に反対」の声に町長は「100%決まったわけではなく、

答 高岡町長 現時点で、ヘリポート予定地の騒音については、問題ないと考えている。民



ヘリポート建設予定地

家の上空を飛行しないで、離着陸できる場所が望ましい。いろいろな意見があると思うが、早期に決断し進めたい。

どの「決」を重視するのか

問 差し止め訴訟は被告人が町長で「町は、町開発公社が取得している土地を取得するな」である。判決を順守すべきと思うが、裁判所の判決と議会の議決が相反した場合、町長はどの「決」を重要視するのか。

判決が優先

答 高岡町長 裁判所の決定は当然最優先と考える。

徳洲会に相談を

問 徳田虎雄先生は過去「徳之島から一円も持ち出さない」と言われていた。議会で物議を醸し、告発、訴訟されたにもなっていない。

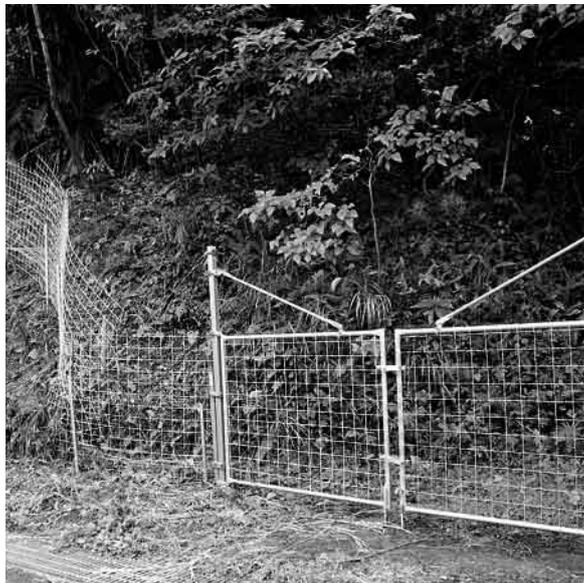
る土地に、徳洲会が移転するとは考えられない。土地を徳洲会に買い取りの相談をされたらどうか。

医療機関との連携

答 高岡町長 徳洲会に土地の買い取りの要望はできないと思っている。この問題は、町の方から要望を行ったもので今後も、医療機関とは連携を深めていきたい。

鳥獣対策の充実を

徳 田 進 議員



金見地区に設置されたイノシシ進入防止柵

問 北部地区を起点とし、進入防止柵設置がされ、かなりの効果が見られる。今後イノシシの個体数を減らすため、3町、農協、南西糖業などの協力を得て、窓口を一つにすることで、助成金を増額することができないか。

捕獲報償費の増額に取り組む

答 岡元農林水産課長 現在、山、金見に14町、イノシシ進入防止柵を設置中である。また、手々に7町、轟木花徳に25町を

県に要望中である。捕獲報償費については、J・A・町が、5千円ずつ負担しているが、来年度は、個体数を減らすために増額したい。

雇用対策事業を民間にも

問 国が進めている雇用対策事業を民間にも活用してもらい、就業者の希望にあつた職種に活用できないか。

民間でできるか検討

答 長川企画課長 本町で、国の緊急雇用創出事業で47名を雇用している。24年度以降も引き続き要望しており、民間でも活用できる事業があれば検討していく。

漁業施設等の設置を

問 漁業者の経営の安定化・地産地消など地域振興を目的とした、水産物

販売所、加工施設などが、設置できないか。

早期に実現したい

答 岡元農林水産課長 今年度から、鮮度維持

のために、山漁港・母間漁港への製氷施設の建設に取り組んでいる。亀津新漁港への大型製氷・貯氷庫の建設と、加工・販売のための水産物加工場の建設を、国・県へ要望している。

防災マップ整備を

福岡 兵八郎 議員



問 11月18日に轟木地区で発生した突風竜巻災害の教訓を生かし、あらゆる防災のマップを整備し、各地区に自主防災組織育成と危機管理者育成講座が実施できないか。

答 米原総務課長 防災マップと標高表示版は、来年度予算で早急に整備をしたい。自主防災組織は、各集落の協力を得て立ち上げをしたい。今後この自主防災組織をソフト、ハード両面から支援していきたい。

住民と協力して

問 本町における障がい者認定人口は何人か。就労支援強化のために地域自立支援協議会の設立と奄美障がい者就労生活支援センターとの連携、活用を積極的に進めるべきと思うが。

答 住田保健福祉課長 認定者は854人。障がい者の相談体制として地域自立支援協議会の設置は、平成24年度より3カ町での立ち上げに向けて検討会を実施中。障がい者就労

障がい者就労支援を

24年度に協議会設置

支援に関するパンフレット等を窓口を設置し、情報提供を実施していく。



見直しが必要な防災マップ

課題多い

緊急母体搬送

藤井裕正 議員



した救急医療に対応した高度医療を構築できるような病院づくりを早急に求めるべきだと、強く県の方に今後は対応策を要望していきたい。

路整備を進めていくことができるようになった。今後、官民協力のもと、防災面を含め、避難道路等を考慮した市街地づくりを検討していきたい。

能の保存継承が厳しい状況になりつつある。町としての新たな取り組みが必要と考えるが見解を伺う。

町挙げてのイベント開催

答 琉社会教育課長

伝統芸能の保存活動は、各集落で積極的に取り組んでいるが、参加者の減少で存続が危ぶまれている。

今後は、県文化振興財団助成事業の活用と公民館教室の開設や町挙げてのイベントを開催し、保存伝承に努める。

伝統文化芸能の保存継承を

災害に強い街づくり

問 東日本大震災を踏まえ、災害に強い街づくり、地域の活性化を図るための、道路整備事業が望まれている。

本町の今後の道路整備事業について伺う。

官民協力で市街地づくり

答 麓建設課長

区画整理事業の網掛けがはずれ、亀津市街地の道

問 これまで沖縄県が実施していた奄美各島からの緊急母体搬送受け入れが、12月から取り止めとなり、離島における妊婦のリスクが更に大きくなった。今後の緊急搬送、離島医療体制の確立をどのように図るのか伺う。

県に強く対応策を要望

答 高岡町長

県の進めているドクターヘリが県立大島病院ということであればしっかりと



保存伝承されている手々のムチタボレ

みんなで議会を傍聴してみませんか。



12月議会傍聴席のようす

手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話 82 - 1111
(内線 331番)

定例会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

農地法違反の認識は

広田 勉 議員



に抵触していたと考える。現時点では法の問題は解決したものと考える。

適正な手続き

問 町長は、農地を取得した後から法律を完成（追完）させたので、法律はクリアしたと言い、農業委員会も、始末書を提出させて、多数決で決している。双方共に、土地開発公社の病院用地取得に、農地法違反の認識はあるのか。

答 米島農委委員長 農業委員会は、適正な手続きがなされているとの判断に至り、始末書を提出していただき、その始末書の内容を審査の上決定した。

指導を仰ぐことが重要

答 高岡町長 農地法については、農業委員会に指導をお願いした。

その結果として追完という処理になった。そのまま、放置しておく農地法

農地・水保全管理事業を活用

答 里内耕地課長

土砂流出の原因は局地的豪雨による自然的要因、無届出開発等による人為的



→雨が降ると土砂が流れる道路

赤土流失の原因・対策は

問 徳之島地域土砂流失防止対策連絡協議会や現地パトロール等で行われている、赤土流失の原因と沈砂池の管理、農道の未舗装流失対策はどうなっているのか。

徳之島地域土砂流失防止対策連絡協議会や現地パトロール等で行われている、赤土流失の原因と沈砂池の管理、農道の未舗装流失対策はどうなっているのか。

なぜ上がる固定資産税

問 全国的に土地の評価額は下がっているのに、なぜ固定資産税が毎年上がるのか。

いつまで上がるのか等を広報等で告知をすべきではないか。

負担水準調整措置による

答 元田税務課長

税負担を均衡化させる目的で、負担水準による調整措置が導入された。

負担水準の高い土地は税負担を据え置き、低い土地は毎年少しずつ引き上げていく仕組みになっている。

この仕組みを広報紙等で町民に周知したい。



地球規模での災害が多く発生した年が過ぎ、新たな年を迎えた。

多くの国民が「新年はいい年でありますように」と願ったが、野田内閣は年の瀬の中で消費税をはじめとした増税計画案を確定した。消費税は、低所得者ほど負担が大きい税法だ。福祉先進国では消費税率が高く各種税金も高い。しかし国民の不満はない。それは税金がきちんと国民に還元され、保障が行き届いているからだ。スウェーデンでは食料品等には消費税が掛からない。そして年齢に関係なく学費は無料、高齢で退職したら年金があり医療費は無料、という福祉国家だ。だから働いている間は税金が高くても構わないというのだ。また、スウェーデンでは、「国は親で国民は家族」という考えで政治が行われている。そして、「幸福追求権」もある。生まれてきた国民（家族）が等しく幸福に生きていけるように国（親）として幸福実現のためにあらゆる手立てをとっている。

この違いはどこからくるのか。それは国民一人ひとりがどんな政治を希望しているかで決まるのではないだろうか。私たちももっと真剣に考えてみる必要があるのではないかと。

文責 幸 千恵子

議会だより編集委員

- 委員長 福岡 兵八郎
- 副委員長 幸 千恵子
- 委員 田袋 徹二
- 委員 是枝 孝太郎
- 委員 徳田 進



編集委員のみなさん